

<英語語法マスター①> 動詞の語法①

① 他動詞と間違えやすい自動詞

- ・ 自動詞: 後ろの名詞[目的語]を置くとき、前置詞が()動詞
- (例) X apologize me → O apologize to me 「私に謝る」

前置詞とセットで!

<頻出の他動詞と間違えやすい自動詞>

① 「Aについて話す」	→ () = ()
② 「Aに着く」	→ () / () = ()
③ 「Aについて言及する」	→ () = ()
④ 「A(場所/人)を訪れる」	→ () = ()
⑤ 「Aに住む」	→ () = ()
⑥ 「Aに反対する」	→ () = ()
⑦ 「Aの中に入る」	→ () = ()
⑧ 「Aに答える」	→ () = ()
⑨ 「Aを出発する」	→ () = ()
⑩ 「AにBのことで謝る」	→ () ()
⑪ 「AにBのことで不満を言う」	→ () ()
⑫ 「AとBについて口論する」	→ () ()
⑬ 「Aを卒業する」	→ () ()
⑭ 「Aなしですます」	→ () = () ()
⑮ 「Aと競争する」	→ () ()
⑯ 「Aと口論する」	→ () ()
⑰ 「AとBにおいて異なる」	→ () ()
⑱ 「Aを処理する」	→ () ()
⑲ 「Aを認める」	→ () ()
⑳ 「Aに同意する」	→ () ()

※①～⑨は他動詞の言い換えもおさえる!

ポイント① complain のほかに, agree (認める)などは、前置詞を省いて()を続けることができる。reply は「～と答える」の意では他動詞で()をとる。

He complained that she had been rude to him.

「彼は彼女が失礼な態度だったとこぼした」

ポイント② look (見る), stare (見つめる)は普通自動詞として使うが、look/stare A in the face (Aの顔をじっと見つめる)という熟語的な形では()として働く。

② 自動詞と間違えやすい他動詞

- ・他動詞: 後ろに名詞[目的語]を置くと、前置詞が()動詞
 × discuss about politics → ○ discuss politics 「政治について論じる」

＜頻出の自動詞と間違えやすい他動詞＞

- ① 「Aと結婚する」→ () = ()
 ※ 「Aと結婚している」→ ()
 ② 「Aに似ている」→ () = () / ()
 ③ 「Aに近づく」→ ()
 ④ 「Aより長生きする」→ () / ⑤ 「 」→ ()
 ⑥ 「Aについて行く」→ () / ⑦ 「Aに話をする」→ ()
 ⑧ 「Aを待つ」→ () / ⑨ 「Aと連絡をとる」→ ()
 ⑩ 「Aに影響を与える」→ () = ()
 = ()
 ⑪ 「Aに参加する」→ () = () / ()
 ⑫ 「Aに出会う」→ ()

③ 紛らわしい自動詞と他動詞

① { attend () A : 「 attend () A : 「	attend A : 「 = ()
② { lie (lie - lay - lain) : 「 lie (lie - lied - lied) : 「	lying lay A (lay - laid - laid)
③ rise (raise - rose - risen) : 「	raise A : 「
④ sit = () : 「	() : 「
⑤ arise (arise - arose - arisen) 「	arouse A : 「
⑥ enter () A : 「	enter A : 「
⑦ search () A : 「	search A : 「
⑧ write () A : 「	write A : 「
⑨ leave () A : 「	leave A : 「
⑩ consult () A : 「	consult A : 「
⑪ { hear () A : 「 hear () A : 「	hear A : 「

<英語語法マスター②> 動詞の語法②

1 動名詞のみを目的語にとる動詞

動名詞は Ving なので、「
→ 「 」や「 」

」のイメージ

未来・現在・過去
どれにも使える

」を表す。

<enjoyタイプ→「実際」やってる・やった系>

- ①()/②()/③()「をやめる」/④()「を中断する」
⑤()「を避ける」/⑥()「を逃れる」/⑦()「を練習する」
⑧() [=]「を延期する」/⑨()「をしそこなう」
⑩()「を認める」/⑪()「を否定する」「を認めない」

He admitted committing the theft. 「彼は窃盗をしたことを認めた」
→ admitは「実際の行為」を認めるので、ingをとる

<imagineタイプ→「実際」やってる行為を思い浮かべる系>

- ⑫()「を想像する」/⑬() [=]「がどうか考える」
⑭()「を気にする・嫌がる」

Do you mind opening the window? 「窓を開けるのは嫌ですか」

→ 「窓を開ける」ところを想像して、嫌だなと思っている → 「窓を開けてもらえませんか」

※ Would[Do] you mind Ving?

<suggestタイプ→「誰か」に「実際」の行動を促す系>

- ⑮()「しようと提案する」/⑯()「するよう勧める」
⑰()「するよう助言する」※ advise ② to V

He advised consulting his teacher. 「彼は先生に相談するよう助言した」

2 不定詞のみを目的語にとる動詞

to不定詞は「実体のない概念や希望・願望、意図などを表す。→ 「 」的

<hopeタイプ→「これから向かう」系>

- ①()「を望む」/②()「を望む」/③()「したい」/④()
⑤()「を決める」/⑥()「を決心する」 「で合意する」
⑦()「と申し出る」/⑧()「と約束する」/⑨()「を予期する」
⑩() [=]「するつもりだ」/⑪()「を拒絶する」← rejectは Ving!

<manageタイプ→「ゴール」系>

- ⑫()「どうにかVする」/⑬()「Vできるようになる」/⑭()「Vしない」
⑮()「Vする余裕がある」/⑯()「ふりをする」

3 不定詞と動名詞で意味が違ふ動詞

★ ④ + to V は「目的」で、④ + Ving は「目的」が原則!

①	forget to V forget Ving	「<u>これからやるべきこと</u>」を忘れる 「<u>前にやったこと</u>」を忘れる
②	remember to V remember Ving	「<u>＝</u>」
③	regret to V regret Ving	「<u>これからせねばならない</u>」のが残念
④	try to V try Ving	「<u>実際にVできるとはかぎらない</u>」 「<u>実際にVする</u>」
⑤	go on to V go on Ving	「<u>その先</u>」の話まで続く 「<u>実際にVしている</u>」のを続ける
⑥	stop to V stop Ving	「<u>このstopは「立ち止まる」の意味</u>」の④ 「<u>やっている最中</u>」のものをいったん中断する
⑦	cease to be C cease Ving	「<u>be動詞や状態動詞の場合はto V</u>」 「<u>＝</u>」も可

4 動名詞が受動の意味を表す動詞

①	S () Ving S () Ving = S ()	「<u>＝</u>」
②	S () Ving S () Ving	「<u>＝</u>」
★ Vingの () がSになっている! → Vingの後ろはOが欠ける! My shoes need[want] mending. 「私の靴を修繕する必要がある。」 The book is worth[deserves] reading. 「その本を読む価値がある。」 (は)		

<英語語法マスター③> 動詞の語法③

1 使役動詞の語法パターン (make · have · let · help)

< make O C の C の3パターン >

① make O (): 「 He made her ^形angry. 「彼は彼女を怒らせた」

② make O (): 「 (英文法超基礎④2)
= (/) O ()

☆受動態では () になる!

○ He was made to pay his debts. 「彼は借金を返させられた」

× He was made pay his debts.

= He was forced / compelled / obliged to pay his debts.

③ make O (): 「 → 次の3つを覚える!
→ (): 「
(): 「
(): 「

< have O C の C の3パターン >

① have O (): 「 ← 義務的なイメージ
= (/) O () 使役 受身・被害 完了

② have O (): 「
= () O ()

③ have O (): 「

< let O C の3パターン >

① let O (): 「 ← 「本人の望み通りに」
= (/) O () ← 受動態でよく使われる

② let O (): 「

③ let O (): 「 Let me in. 「中に入れて」

< help の2パターン >

① help O (): 「

② help A () B: 「 He helped me with the work. 「彼は私の仕事を手伝ってくれた」

2 知覚動詞の語法パターン

< hear タイプ >

- ① hear O { (): 「
 (): 「
 (): 「
 他にも
 () 「見る・見える」 / () 「見る」 / () 「見守る」 / () 「感じる」
 () 「聞く」 / () 「気がつく」
- ← 一部始終
 ← その瞬間のみ

- ② 受動態にすると () を必要とする! Ving はそのまま!

I heard the bell ring. → The bell was heard **to ring**. 「ベルが鳴るのが聞かれた」

※ watch は受動態にしない!

- ③ 上記の動詞のうち、O + Vp.p. をとることができるのは () !

< find タイプ >

- ① find / catch O (): 「

I caught the boy stealing fruit. 「私はその少年が果物を盗むところを見つけた」

- ② find O (): 「

← catch はこの形はない

I found my purse gone. 「私はさいふが無くなっているのに気付いた」

3 that 節に原形を使う動詞 ← 英文法超基礎⑧

提案・要求・依頼など、「人に何かをさせたい」という意味を持つ動詞の後ろの that 節では、() を用いる! (should + V を使うこともある)

< that 節に原形を使う V >

- ① () 「要求する」 / ② () 「要求する」 / ③ ()
 ④ () 「要求する」 / ⑤ () 「提案する」 「勧める」
 ⑥ () 「提案する」 ☆①～⑥は頻出! "DRIPS" と覚える!
 ⑦ () 「頼む」 / ⑧ () 「命令する」

They suggested (to him) that he see a doctor.

「彼らは彼に医者に行くよう勧めた」

☆ 「人に何かをさせる」の意味がないときは、原形を使わない!

Her remarks suggested that she was angry.

「彼女の口調からすると頭にきているようだ。」

<英語語法マスター④> 動詞の語法④

1 SVO と V タイプの動詞一覧

<SVO と V 型の代表的な動詞>

- ① () 「OにVするよう忠告する」→直後に O V は X! () なら O
☆ () や () をとることができる。
- ② () 「OがVするのを許す」→ () は続かない! (受身多)
☆ 「認める」の意味だと、() と () をとる。
- ③ () 「OにVするよう頼む」→ () で表すことはできない!
- ④ () 「OがVする原因となる」(受身多)
- ⑤ () 「OにVするよう命じる」→ () は X!
- ⑥ () 「OにVすることを強いる」→ () は続かない! (受身多)
- ⑦ () 「OにVするよう追いやる・駆り立てる」
- ⑧ () 「OがVするのを可能にする」← 無生物主語の構文によく使われる!
- ⑨ () 「OがVするよう励ます・勧める」
- ⑩ () 「OがVすると予期する・期待する」= ()
※ () 「Vするつもりである」
- ⑪ () 「OにVすることを強いる」→ () は続かない! (受身多)
- ⑫ () 「OにVするよう勧める」※ () 「OをAに招待する」
- ⑬ () 「OにVするのを任せる」← () 「OをOに任せる」
- ⑭ () 「OにVするようにし向ける」※ () 「Aへ通じる」
- ⑮ () 「OにVしてもらいたい」← () 「Vしたい」
= () / () / ()
- ⑯ () 「 = ()
※ () 「AをBに注文する」← O はダメ!
- ⑰ () 「OがVするのを許す」→ () は続かない! (受身多)

1 つづき

⑮ () 「Oを説得してVさせる」= ()
 → 「納得させる」の意味では () をとる。← 「Oに～を納得させる」

⑯ () 「OにVすると約束する」← Oは意味上の主語ではない!
 He promised me to come at nine. 「彼は私に9時に来ると約束した」
 → 「come」するのはOである「me」ではなくSの「He」!

⑰ () 「OにVすることを思い出させる」← 原因・動機となるものをSにする
 ※ (/) 「AにB[S'V']を思い出させる」

⑱ () 「OにVするよう要求する」→ Oには () も可! ← 原形系!

⑲ () 「OにVするよう言う」

⑳ () 「OがVするよう強く促す」→ () ・ () は不可!
 ☆ 「の意味では that 節をとる! ← 原形V系

㉑ () 「OにVするよう警告する」→ () も可
 「AにBを警告する」→ ()

2 SVO と V の形をとれない注意すべき動詞

① () 「認める」→ () / () / ()

② () 「許す」→ () / () 「AをBのことで許す」

③ () 「許す」→ () 「AをBのことで許す」

④ () 「要求する」→ () / () 「AをBに
 請求する」

⑤ () 「提案する」→ () / ()

⑥ () 「提案する」→ () / ()

④～⑥は「人」を目的語としておくことができない。→ () にする!

⑦ () 「説明する」→ (/) ← O₁O₂はダメ!

⑧ () 「希望する」→ () / () / ()

「㊦がVするのを望む」 「SがV'でありますように」 「Aを期待する」

⑨ () 「禁じる」→ () 「㊦にVすることを禁じる」

<英語語法マスター⑤> 動詞の語法⑤

1 SVCの形をとる動詞 ← 英文法超基礎④⑤

①「～である」

(/ / / /) + 形・名

②「～のままでいる」

(/ (lie- - -) / / /) + 形

③「～であることがわかる」

(/) (to be) + 形・名

④「～になる」

() + 形・名 / (/ /) + 形

() + 形 ← 肯定的な意味のみ! come true 「実現する」

(/ /) + 形 ← 否定的な意味のみ! go bad 「(食べ物)が腐る」

⑤ 知覚動詞

() + 形 / () + 名 「～に見える」

() + 形 / () + 名 「～に聞こえる・思われる」

() + 形 / () + 名 「～の感じがする」

() + 形 / () + 名 「～の味がする」

() + 形 / () + 名 「～のにおいがする」

⑥ () + 形・名 「～に思える」

2 注意すべき do の用法

<自動詞の do>

() の形で「

」の意味を表す

This place will do for playing baseball. 「この場所は野球をするのに十分だ」

<二重目的語をとる do>

① () 「Aのためになる」 = () ← good 「利益」

② () 「Aの害になる」 = () ← harm 「害」

③ () 「Aの頼みを聞き入れる」

④ () 「Aに損害を与える」 = ()

3 重要な SVOO 型の動詞 ← 英文法超基礎④

① () O ₁ O ₂ 「	「 (to 型) ← O to V がほとんど
② () O ₁ O ₂ 「	「 (O ₁ O ₂ の入れ換え不可)
③ () O ₁ O ₂ 「	「 (to 型)
④ () O ₁ O ₂ 「 () : 「	「 「 「 「
⑤ () O ₁ O ₂ 「	「 (to 型)
⑥ () O ₁ O ₂ 「	「 (O ₁ O ₂ の入れ換え不可)
⑦ () O ₁ O ₂ 「	「 (to・for 両方可) ← O to V がほとんど
⑧ () O ₁ O ₂ 「	「 (for 型) / 「 (to 型)
⑨ () O ₁ O ₂ 「	「 (to 型)
⑩ () O ₁ O ₂ { 「 「 「	「 (to・for 両方可) ← borrow は SVO のみ! 「 (to 型) 「 = ()
⑪ () O ₁ O ₂ 「 ※ save O 「	「 (for 型) 「 「
⑫ () O ₁ O ₂ 「	「 (for 型) 「
⑬ () O ₁ O ₂ 「 → () : 「	「 ← 「お金」の場合は cost
⑭ () O ₁ O ₂ 「	「 (to 型)
⑮ () O ₁ O ₂ 「	「

<英語語法マスター⑥> 動詞の語法⑥

① 活用形を間違えやすい動詞

< lieタイプ: 活用形がダブるモノ >

lie (自) 「横たわる, ある」	lie — () — () — ()
lie (自) 「うそをつく」	lie — () — () — ()
lay (他) 「を置く」	lay — () — () — ()
fall (自) 「落ちる・倒れる」	fall — () — ()
fell (他) 「を倒す」	fell — () — ()
find (他) 「を見つける」	find — () — ()
found (他) 「を創設する」	found — () — ()
see (他) 「を見る」	see — () — ()
saw (他) 「きのこぎりでひく」	saw — () — ()
wind (他) 「を巻く」	wind — () — ()
wound (他) 「を傷つける」	wound — () — ()

< riseタイプ: 形が似てて、混同しやすいモノ >

rise (自) 「上がる」	rise — () — ()
raise (他) 「を上げる・育てる」	raise — () — ()
fly (自) 「飛ぶ」	fly — () — ()
flee (自) 「逃げる」	flee — () — ()
flow (自) 「流れる」	flow — () — ()
welcome (他) 「を歓迎する」	welcome — () — ()
overcome (他) 「を克服する」	overcome — () — ()

< hangタイプ: 意味によって活用形が変わるモノ >

hang (他) 「を掛ける」	hang < () — ()
hang (他) 「を絞首刑にする」	hang < () — ()
shine (自) 「輝く」	shine < () — ()
shine (他) 「を磨く」	shine < () — ()
bear (他) 「に耐える」「を運ぶ」	bear < () — ()
bear (他) 「を産む」	bear < () — ()

2 意外な意味を表す自動詞

① () 「 」 = ()

The storm lasted for two days. 「嵐は2日間続いた」

② () 「 」

Kindness sometimes does not pay. 「親切は時に割に合わないことがある」

③ () 「 」

Her letter reads like a poem. 「彼女の手紙は詩のように読める」

④ () 「 」

This dress should sell for \$150. 「この服は150ドルで売れるはずだ」

3 「言う」系の動詞の用法

< say の用法 >

① () / () }

② S [新聞・雑誌] say that S' V ~ : 「

< tell の用法 >

① () : 「

② () : 「

③ () : 「

④ () : 「

= ()

← 0 が 1 つだけのときは
基本「区別する」

⑤ () 「

/ () 「

↓ 例外

⑥ () 「

< talk の用法 >

① () : 「

/ ② ()

③ () : 「

④ () : 「

③・④は⑤

< speak の用法 > (← 言語を O にとるときのみ⑤)

① () : 「

/ ② () : 「

＜英語語法マスター⑦＞ 動詞の語法⑦

1 A of B型の動詞

askタイプ: 要求を表すモノ

- ① () 「頼む」 / ② () 「懇願する」 / ③ () 「要求する」
④ () 「期待する」 / ⑤ () 「要求する」

(A)上の V は " V A of B" の形で「 $\quad$ 」の意味!

Don't expect some cooperation of her. 「彼女に協力を期待するな」

(B)(A)の形のまま of の代わりに()も用いられる!

※ ask・beg は ask/beg () の形で「もある」。

<informタイプ:通知・説得を表すモノ>

- ①()「確信させる」/②()「知らせる」
③()「納得させる」/④()「思い出させる」
⑤()「の嫌疑をかける」/⑥()「警告する」

(A)上のVは" $V A \text{ of } B$ "の形で「 $\hookrightarrow$ が基本的な意味

He informed me of her arrival. 「彼は私に彼女の到着を知らせてくれた。」

※1. warnは「Bに対して身を守れ」という意味のときには ofではなく()を使う。

※2. これらの動詞は () の形で「も表す!

< robタイプ: 除去・奪取を表すモノ >

- ①()「取り除いて片づける」/②()「取り除いて治す」
③()「奪う」/④()「取り出して空にする」
⑤()「取り除いて楽にする」/⑥()「取り除く」
⑦()「奪う」/⑧()「はぎとる」

・上のVは“V A of B”の形で「」の意味を表す!

They **robbed** the man **of** his watch. 「彼らはその男**から**腕時計を**奪**った。」

☆「盗む」シリーズ 「彼は私からお金を奪った」

$$\left(\begin{array}{c} \\ \\ \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \\ \\ \end{array} \right)$$

He robbed me of my money. = He stole my money from me.

→ I was robbed of my money. = My money was stolen.

2 A for B型の動詞

< blameタイプ: 賞罰・非難を表すモノ >

- ① () 「称賛する」 / ② () ・ () 「非難する」
 ③ () 「に罰金を科す」 / ④ () 「許す」
 ⑤ () 「許す」 / ⑥ () 「ほめる」 / ⑦ () 「罰する」
 ⑧ () 「に賞を与える」 / ⑨ () 「尊敬する」
 ⑩ () 「叱る」 / ⑪ () 「に感謝する」

(A) 上のVは "V A for B" の形で「
 We praised him for his diligence. 「私たちは彼を勤勉だとほめた。」を表す!

(B) forの次に () をおいて、「
 He scolded her for neglecting her duty. 「彼は義務を怠ったことで彼女を叱た。」という形も多くとる!

⑫ () 「責める・訴える」は forではなく () をとるので注意!

I accused him of stealing a car. 「彼を車の窃盗罪で訴える」

3 A with B型の動詞

< provideタイプ: 供給・付託を表すモノ >

- ① () 「備えつける」 / ② () 「供給する」 / ③ () 「供給する」
 ④ () 「と比較する」 / ⑤ () 「と同一視する・関連づける」
 ⑥ () 「印象づける」 / ⑦ () 「贈る・与える」
 ⑧ () 「供給する」 / ⑨ () 「供給する」
 ⑩ () 「分かち合う」 / ⑪ () 「供給する」

(A) 上のVは "V A with B" の形で「
 I furnished the kitchen with a cupboard. 「台所に食器棚を取り付けた。」の意味を表す!

(B) presentは () をとることもある。() ・ () ・ ()
 もアメリカ英語では () をとる。

(C) AとBの順を逆にして () や () をとるものがある。

(1) toをとるもの → () ・ () ・ () ・ ()

(2) forをとるもの → () ・ ()

⑬ feedは「BでAを飼う」の意味では () となる。

＜英語語法マスター⑧＞ 動詞の語法⑧

① A from Ving 型の動詞

＜preventタイプ:妨害・守護を表すモノ＞

- ① () / () 「思いとどまらせる」
 ② () / () / () 「妨げる」 ← from は省略あることも
 ③ () 「妨げる」 ← from は省略されることがない
 ④ () / () / () 「禁じる」
 ⑤ () 「A を ~ から 救う」「不要にする」

・上のVは“V A from Ving”の形で「」などの
意を表す。「」と訳すことが多い。

Illness prevented me from coming to school. 「病気のため登校できなかった」

↑ keep, prevent は無生物主語の構文によく用いられる!

2 V A as B型の動詞

＜AをBとみなす＞

- ① () / ② () / ③ () / ④ () / ⑤ ()

We regard him as a hero. 「私たちは彼を英雄だと思う。」

③ V A to B 型の動詞

＜対象の如タイプ＞

- ① () 「AをBに如える」
- ② () 「AをBに割り当てる」
- ③ () 「AをBのせいにする」
- ④ () 「AをBに持ってくる・連れてくる」
- ⑤ () 「AをBと比較する」「AをBにたとえる」
- ⑥ () 「AをBに寄付する・与える」
- ⑦ () 「AをB(の状態)にする」
- ⑧ () 「AをBにさらす」
- ⑨ () 「AをBに任せる」
- ⑩ () 「AをBに持っていく・連れていく」
- ⑪ () 「AについてはBのおかげである」

④「感謝する」シリーズ

① ()
= ()

I am thankful to him for saving my life.

「私は命を救ってくれたことで彼に感謝している。」

②()「事・物をとる点に注意!

I appreciated his help when we moved.

「引越しのとき彼が手伝ってくれたことを感謝した。」

＜慣用表現＞

① ()
= () ← おおげさなニュアンス

② ()

5 「合う・似合う」シリーズ

① () A ^r

The shoes fit him in a size. 「その靴は彼に(大きさが)合っている」

② () / () A^r

Her red dress suits / becomes her. 「赤いドレスが彼女に似合っている」

※ suit は ほか に 「

「という意味もある!

What time suits you best? 「何時が一番ご都合がよろしいでしょうか」

③ () / () A^r

The shoes match / go with her jacket. 「その靴は彼女のジャケットに合っている」

<英語語法マスター⑨> 動詞の語法⑨

1 「貸す」「借りる」の識別

	英単語	特 徴
「貸す」	()	・ () = () の形! ・ 移動 () な物を () で貸す
	()	・ () = () の形! ・ 移動 () な物を () で貸す I loaned him the money. 「彼に(有利子で)お金を貸した」
「借りる」	()	・ () の形! ・ 移動 () な物を () で借りる Can I borrow your pen? 「ペンを借りてもいい?」
	()	・ 移動 () な物を () で借りる May I use the restroom? 「トイレを借りてもよろしいですか」 → トイレ・電話などをその場で使わせてもらうときに用いる
	()	・ () などを () で借りる hire a theater 「劇場を(代金を払って)借りる」
	()	・ () = () の形! I owe my brother \$50. 「兄に50ドル借りている」
「貸す」 「借りる」	()	・ () などを () で貸す・借りる ・ () = () の形! I rented the house to him at \$500 a month. 「私はその家を月500ドルで彼に貸した」 ・ () 有料で I rent an apartment from her. 「彼女から部屋を借りる」

2 「疑う」の識別

・ () that ~ : 「 ≡ () that ~ ※ () 「 」	「 」 → 「 」
・ () that ~ : 「 ≡ () that ~ ※ doubt if/whether ~ : 「 」	「 」 → 「 」

③「思いつく」「思い出す」の識別

＜「思いつく」の識別＞

①田の船に人がくる→()/()/()

A good idea occurred to / hit / struck me. 「よい考えが浮かんだ」
(考え) (人)

② 目的語に 考え がくる → () / () / ()

I hit on / came up with / thought of a good idea. 「よい考えを
② 考えた」

※主語によって動詞が変わる点に注意! occurに関しては
()という形になることも多い!

① It occurred to me <that he loved her> 「彼は彼女を愛しているのだ
と思った。」

＜「思い出す」の識別＞

①(モノ)が主語で②(人)が目的語

$$\rightarrow (\quad) \oplus (\quad) / (\quad) / (\quad)^r$$

This picture reminds me of our holiday.

「この写真は私にあの休日を思い出させる」→「この写真を見るとあの休日を思い出す」

② 人 が主語で ① が目的語

$$\rightarrow (\quad) / (\quad) / (\quad) / (\quad) \sim$$
$$= (\quad)_n$$

I remember our holiday when I see this picture.

② I remember our holiday when I see this picture.
この写真を見ると、私はあの休日を思い出す。

4 「許す」の識別

①「許可を与える」→ ()

The doctor allowed/permitted her to get up.

「医者は彼女がベッドから起きることを許可した。」

↑ これからすることを許す

②「罪などを許す」→()

They forgave/excused him for his crimes. 「彼らは彼の罪を許した。」

↑ やったことを許す

<英語語法マスター⑩> 動詞の語法⑩

①「着る」の識別

①状態を表す: 「~を着ている」

→ () (- -) / () / ()

He always wears brown shoes. 「彼はいつも茶色の靴をはいている」

②動作を表す: 「~を着る」→ ()にできる!

→ () / () / ()

() ← ~の部分がないとき ()の語順!

Get dressed・Dress yourself in / Put on black quickly.
「すぐに喪服を着なさい」

②「傷つく」の識別

① () 「を傷つける」→ 「ケガをする」という表現は ()で表す!

He was seriously injured in an automobile accident.

「彼は自動車事故で重傷を負った」

② () 「を負傷させる」→ 「負傷する」という表現は ()で表す!

He was wounded in the arm. 「彼は腕を負傷した」

※ injureは通例事故などでけがをするときに用い、woundは凶器などで傷を負うときに用いる!

③ () 「に損害を与える」← “建物・作物”がくることが多い

It will damage the crops. 「穀物に損害を与えるだろう」

※ 人には使わないが人の体には使う damage your health 「君の健康を害する」

④ () 「を傷つける」= () ← こっちの方が堅い語

She hurt her leg. 「彼女は脚をけがした」

※ 「交通事故で死ぬ」は () となり、
dieは使えない!

③「かく」の識別

① () → () を書く He wrote this book. 「彼がこの本を書いた」

② () → () I'll draw a map. 「地図を描いてあげる」

→ 線で物を描くことを表す

③ () → () He painted pictures. 「彼は絵を描いた」

④「望む・願う」の識別

「望む」系は(/ /)の3語!

→「ありえることを願う」のが() ← 直説法

「ありえないことを願う」のが() ← 仮定法

< wish の用法 >

① () で用いる ← that 節内

I wish I had bought the book. 「その本を買っていたらなあ」
had + V.p.p.

② (): 「Vしたいと思う」

③ (): 「②にVしてもらいたい」

④ (): 「Aを望む」

< hope の用法 >

① () ← () (同じ用法) 「予期する」・() 「予測する」

I hope (that) you will pass the exam. 「君が試験に合格することを
hoped (that) you would pass the exam. 望んでいる/いた」

② (): 「Vすることを望む」

③ (): 「②がVすることを望む」 ← for を忘れずに!

④ (): 「Aを望む」 We hope for world peace.
「私たちは世界平和を望んでいる」

< want の用法 >

① () はとれない!

② (): 「Vしたい」

③ (): 「②にVしてもらいたい」

④ () は不可!

※ () 「を切望する」は () と同じ語法!

⑤「勝つ」の識別

「人に勝つ」→ () 「物に勝つ」→ ()

• He won the game. 「彼はその試合に勝った」

• He beat me. 「彼は私に勝った(を打ち負かした)」

↳ beat - beat - beaten ↑ I was beaten by him. 「彼に負けた」